

作成日 2011年 2月17日
改訂日 2014年12月2日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ユニフィルマHVY
製品コード	H140
会社名	千葉製粉株式会社
住所	千葉市美浜区新港17番地
電話番号	043-241-0699
緊急時の電話番号	043-241-0699
FAX番号	043-241-0806
メールアドレス	kikaku@chiba-seifun.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	医薬品添加剤、医薬部外品原料、化粧品原料、その他化学品原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日

物理化学的危険性

事業者向けGHS分類ガイダンス(平成21年3月)を使用

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類されない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類されない
自己発熱性化学品	分類されない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない

健康に対する有害性

環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 分類できない 分類できない
以下、ラベル要素項目自体削除		

その他の危険有害性情報 データなし

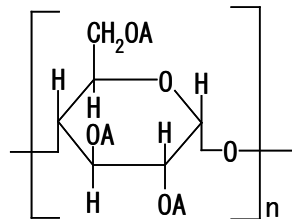
国・地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名又は一般名
化学特性（示性式又は構造式）

イソステアリン酸デキストリン



A: イソステアロイル基または水素
n: 重合度

CAS番号 116580-54-2

官報公示整理番号(化審法・安衛法) -

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 なし

濃度又は濃度範囲 95%以上

GHS分類上の裾切り値以下
メタノール <5ppm(弊社測定限界以下)
n-ヘプタン <200ppm

β-ピコリン <300ppm
イソステアリン酸 5%以下

分類に寄与しない不純物

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸をおこなう。
体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。
直ちに医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合

触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使って良く洗い落とす。

目に入った場合

外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療処置を受ける手配をする。
目に異物感を感じた場合は、目をこすらずに清浄な水で良く目を洗浄する。洗顔の際、眼瞼を指で良く開いて眼瞼、眼球のすみずみまで水が良く行きわたるように洗う。

飲み込んだ場合

吐き出させてから直ちに医療処置を受ける。
水で良く口の中を洗わせるか、うがい等を行っても良い。

予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂などを用いる。

使ってはならない消火剤

第3又は第4、第5消火器を用いる。

特有の危険有害性

データなし

特有の消火方法

データなし

消火を行う者の保護

初期の火災には、水、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火器を用いて空気を遮断する。
適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具および緊急措置		作業には必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を使用する。
環境に対する注意事項 回収・中和		漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。 掃除機等で吸引収集する。
封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策		データなし データなし
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の換気を行う。
	安全取扱い注意事項	接触、吸入防止のための個人保護具を着用する。 通気の良いところで取り扱う。
保管	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	技術的対策	火気、熱源を避ける。
	混触危険物質	データなし
	保管条件 容器包装材料	直射日光、高温多湿を避け、冷暗所にて保管する。 未開封での保存が望ましい。
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度		未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		
	日本産衛学会(2007年版) ACGIH(2007年版)	未設定 未設定
設備対策		この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器及び身体洗浄用の水道を設備する。 適切な喚起を行う。
保護具	呼吸器の保護具	状況に応じて着用する。
	手の保護具	ゴム製保護手袋等を着用する。
	眼の保護具	安全ゴーグル等を着用する。
	皮膚及び身体の保護具	長袖の作業着を着用する。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質		
物理的状態	形状	柔らかい固体
	色	無色～淡黄褐色
	臭い	ないか、または特異なおいがある。
	pH	データなし
融点・凝固点		60℃～70℃
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		200℃ 以上
自然発火温度		データなし
燃焼性(固体、ガス)		データなし
爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		難溶：水、メタノール、エタノール 可溶：キシレン、ベンゼン、クロロホルム、四塩化炭素
オクタノール・水分配係数		データなし
分解温度		データなし

粘度	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし
その他のデータ	データなし
10. 安定性及び反応性	
安定性	通常の保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	反応性は低い。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし
11. 有害性情報	
急性毒性 経口	データなし
経皮	データなし
吸入	吸入(ガス): GHSの定義による個体である。 吸入(蒸気): データなし 吸入(ミスト): データなし
皮膚腐食性・刺激性	被験者数20名を対象とした閉鎖パッチテスト(24時間連続貼付)の陰性結果のみで分類できないとした。※1
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: 被験者数50名を対象としたRIPT(Repeated Insult Patch Test)の結果、皮膚への1次刺激性、累積刺激性及び感作性はないとの結果のみで分類できないとした。※2
生殖細胞変異原性	in vivoのデータがなく、in vitro変異原性試験(Salmonella typhimurium、Eschericia coli)の陰性結果のみで分類できないとした。※3
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
※1 : 千葉製粉株式会社社内資料(「ユニフィルマHVY(Lot.No.31204)」およびコントロール品2種の閉鎖パッチテスト(24時間連続貼付))による、イソステアリン酸デキストリンの情報を記載する。 ※2 : 千葉製粉株式会社社内資料(「ユニフィルマHVY(Lot.No.31204)」の貼付によるRIPT(Repeated Insult Patch Test))による、イソステアリン酸デキストリンの情報を記載する。 ※3 : 千葉製粉株式会社社内資料(Biototech社委託安全性試験結果)による、イソステアリン酸デキストリンの情報を記載する。	
12. 環境影響情報	
水生環境急性有害性	データなし
水生環境慢性有害性	データなし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	一般廃棄物として取り扱う。『7. 取扱い及び保管上の注意』参照のこと。
汚染容器及び包装	一般廃棄物として取り扱う。『7. 取扱い及び保管上の注意』参照のこと。

14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報
航空規制情報
UN No.
国内規制 陸上規制情報
海上規制情報
航空規制情報

該当しない
該当しない
該当しない
消防法、労働安全衛生法等の規制に従う。
船舶安全法の規制に従う。
航空法の規制に従う。

15. 適用法令

消防法

指定可燃物（可燃性個体類：3,000kg）
「消防法 第9条の4」
「危険物の規制に関する政令 第1条の12」

16. その他の情報

参考文献

千葉製粉株式会社社内資料(「ユニフィルマHVY
(Lot.No.31204)」およびコントロール品2種の閉鎖パッチテスト
(24時間連続貼付))
千葉製粉株式会社社内資料(「ユニフィルマHVY
(Lot.No.31204)」の貼付によるRIPT(Repeated Insult Patch
Test))
千葉製粉株式会社社内資料(Biototech社委託安全性試験結
果)